

組合だより

JA

おからく

スゴいぞ!
牛乳

2025

3

vol.273

令和7年3月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和6年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



最優秀賞 県知事賞 学校法人朝日学園朝日塾小学校2年 藤原亜佳音

(絵の説明)

牛乳が大好きな子どもたちが大きな牛に会って、嬉しいようすを描きました。よろこびすぎて、牛からはなれたくなくて、ギュッとだきしめているところです。牛はちょっとてれています。

現況調査まとめ

乳牛総頭数は13,742頭

令和7年2月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様には、ご協力いただき、ありがとうございました。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は表1のとおり142戸、13,742頭と前年2月に比べ戸数では12戸減少、頭数では359頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種は12,404頭(216頭減)ジャージー種他は1,338頭(143頭減)でした。

飼養戸数の内訳は、表2のとおり関係機関を除く搾乳農家が139戸、育成農家3戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は39戸でした。

経産牛頭数は10,189頭(215頭減)育成牛頭数は3,553頭(144頭減)。1戸当たりの平均飼養頭数は94.1頭(4.3頭増)、平均経産牛頭数は69.8頭(3.5頭増)。育成牛率は25.9%となりました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると(表1)西大寺地区が97頭減少、備南地区が13頭増頭、びほく地区が74頭減少。津山事務所では、勝英地区が60頭減少、津山地区が35頭減少、真庭地区が106頭減少となりました。全体では359頭の減少となりました。

おります。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は西大寺・津山・真庭・びほくの順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

表3の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は33戸(23.2%)、30頭から49頭の飼養農家は34戸(23.9%)、50頭から79頭の飼養農家は38戸(26.8%)、80頭から149頭の飼養農家は24戸(16.9%)、150頭から499頭の飼養農家は10戸(7.0%)、500頭以上の飼養農家は3戸(2.1%)となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は9,082頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は7,577頭となっています。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1,505頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で2,169ha、牧草・イタリアン、その他の順でした。(生産支援課)

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

令和7年2月1日現在

	西大寺	備 南	びほく	小計	勝 英	津 山	真 庭	小計	おからく 合 計
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	19 ▲4	22 ▲1	15 ▲3	56 ▲8	24 ▲1	27 ▲2	35 ▲1	86 ▲4	142 ▲12
乳牛総頭数 (対前年増減)	891 ▲97	6,118 13	965 ▲74	7,974 ▲158	1,789 ▲60	1,564 ▲35	2,415 ▲106	5,768 ▲201	13,742 ▲359
経産牛頭数 (対前年増減)	596 ▲78	4,688 ▲25	705 ▲40	5,989 ▲143	1,424 ▲53	1,075 23	1,701 ▲42	4,200 ▲72	10,189 ▲215
経産牛頭数の 占める割合(%)	5.8%	46.0%	6.9%	58.8%	14.0%	10.6%	16.7%	41.2%	
経産牛率(%)	66.9%	76.6%	73.1%	75.1%	79.6%	68.7%	70.4%	72.8%	74.1%
育成牛率(%)	33.1%	23.4%	26.9%	24.9%	20.4%	31.3%	29.6%	27.2%	25.9%
ホルスタイン種	883	6,108	964	7,955	1,789	1,564	1,096	4,449	12,404
ジャージー種他	8	10	1	19	0	0	1,319	1,319	1,338

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表(表2)

令和7年2月1日現在

		西大寺	備 南	びほく	小計	勝 英	津 山	真 庭	小計	おからく 合 計
酪農家戸数	搾乳農家	18	22	15	55	24	26	34	84	139
	育成農家	1			1			2	2	3
	合 計	19	22	15	56	24	26	36	86	142
関係機関戸数	搾乳農家	1			1		1	1	2	3
	育成農家							1	1	1
	合 計	1	0	0	1	0	1	2	3	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	19	22	15	56	24	27	35	86	142
	育成農家	1	0	0	1	0	1	3	3	4
	合 計	20	22	15	57	24	28	38	89	146
肉用牛飼養農家戸数		4	6	4	14	9	13	3	25	39
総農家戸数(関係機関を含む)		24	28	19	71	33	41	41	114	185
ホルスタイン 頭 数	6ヶ月未満	94	404	74	572	146	161	106	413	985
	6～24ヶ月	193	764	123	1,080	219	322	196	737	1,817
	24ヶ月以上	596	4,940	767	6,303	1,424	1,081	794	3,299	9,602
	合 計	883	6,108	964	7,955	1,789	1,564	1,096	4,449	12,404
	うち経産牛頭数	589	4,687	704	5,980	1,424	1,075	769	3,268	9,248
ジャージー他 頭 数	6ヶ月未満	0	1	0	1	0	0	122	122	123
	6～24ヶ月	1	5	0	6	0	0	228	228	234
	24ヶ月以上	7	4	1	12	0	0	969	969	981
	合 計	8	10	1	19	0	0	1,319	1,319	1,338
	うち経産牛頭数	7	1	1	9	0	0	932	932	941
乳用牛総飼養頭数		891	6,118	965	7,974	1,789	1,564	2,415	5,768	13,742
経産牛頭数		596	4,688	705	5,989	1,424	1,075	1,701	4,200	10,189
乳用牛1戸当たり飼養頭数		44.6	278.1	64.3	139.9	74.5	55.9	63.6	64.8	94.1
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		29.8	213.1	47.0	105.1	59.3	38.4	44.8	47.2	69.8

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

地区別酪農家戸数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

令和7年2月1日現在

	平均 年齢	飼 養 頭 数 別 酪 農 家 戸 数												
		1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～ 計
西大寺	63	1	2	2	5	3	3	1	0	2	0	0	0	19
備 南	55	0	2	1	0	5	2	1	1	3	3	1	2	22
びほく	60	0	0	8	2	0	1	1	0	1	2	0	0	15
小計	59	1	4	11	7	8	6	3	1	6	5	1	2	56
勝 英	56	0	2	1	3	7	2	2	2	3	1	1	0	24
津 山	57	0	4	5	2	1	3	6	3	2	1	0	0	27
真 庭	50	0	4	1	3	3	6	10	1	6	1	0	0	35
小計	54	0	10	7	8	11	11	18	6	11	3	1	0	86
合 計	57	1	14	18	15	19	17	21	7	17	8	2	2	142

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

第16回全日本ホルスタイン共進会(全共)の中身とは

事業本部

今秋、開催される第16回全日本ホルスタイン共進会(全共)北海道大会の中身を紹介していこう。新型コロナウイルスの影響により、第15回大会(九州大会)は中止となったため、実に10年ぶりであり北海道では2回連続の開催となる。今回は持続可能性を重点テーマとした大会を目指す、全共とは酪農業界最大のイベント行事であることに変わりはない。

岡山県では全共に向け、組合員皆様のご協力の下、出品対策協議会を設置(表1参照)しており、関係機関総力を挙げて支援を行っている。

- ★開催期日：令和7年10月25日(土)～26日(日)
- ★開催場所：北海道勇払郡安平町 北海道ホルスタイン共進会場
- ★出品頭数：400頭(ホルスタイン368頭 ジャージー32頭)

出品頭数は前回は上回る頭数で北海道より200頭、都府県より200頭を予定している。全共の目的のひとつである国内種雄牛利用の普及拡大を進めるため後代検定種雄牛「Jサイヤー」の娘牛を10～12か月齢・経産2歳級・3歳級の3クラスへの出品を割り当てている。また、高等学校特別枠として20校20頭を予定されている。近年、高校のレベルは非常に高くなりチャンピオンや上位入賞も多くなってきた。

さらに2日目は高校出品牛の中から高校日本一の決定審査も企画された。酪農育成プログラムとして大会前日に高校生などを対象にジャッジング・リードマンスクール・リードマンコンテストも開催する。

酪農経営の中で特に最近では乳牛が健康で長持ちし、繁殖が良好であるなど長命連産性の向上が求められている。体型審査は乳牛の骨格構造や乳器、肢蹄の形状などから長命連産性の良し悪しを評価する唯一の方法であり、審査標準に基づき個々の牛を評価・比較して序列をつけるのがショーである。全共は各県の代表牛を集め展示・比較することで日本のホルスタイン・ジャージーの体型改良の成果と今後の改良の方向性を示す重要な役割を担っている。

もう一つの目的は、なんと言っても酪農家同士の交流である。厳しい酪農情勢の中、離農も相次ぎ全国で1万戸を割る状況の中、全国から多くの酪農家が出品、来場し、出品技術や飼養管理技術、改良の考え方や交配種雄牛などの情報も交換できる絶好の機会でもある。さらには各県がチームとして共進会を共に戦うことは結束力の強化や仲間意識の向上につながり、関係職員のレベルアップにもつながっていく。

主催者側も厳しい酪農情勢の中、出品者の負担を少しでも軽減させるため開催期間を4日間から2日間に短縮し、出品料軽減やショーに特化した開催計画を立て、現況に配慮されている。

前述した今後の改良の方向性についてだが、今の改良はゲノミック評価により乳牛の遺伝的改良は急加速で進んでいる。第16回大会ではゲノミック評価はまだ反映されていないが、次の大会ではゲノミック評価に基づく新たな改良方向が提示されるだろう。

※デリーリマン1月号 特集Ⅲ「行くぞ!北海道全共」より一部抜粋



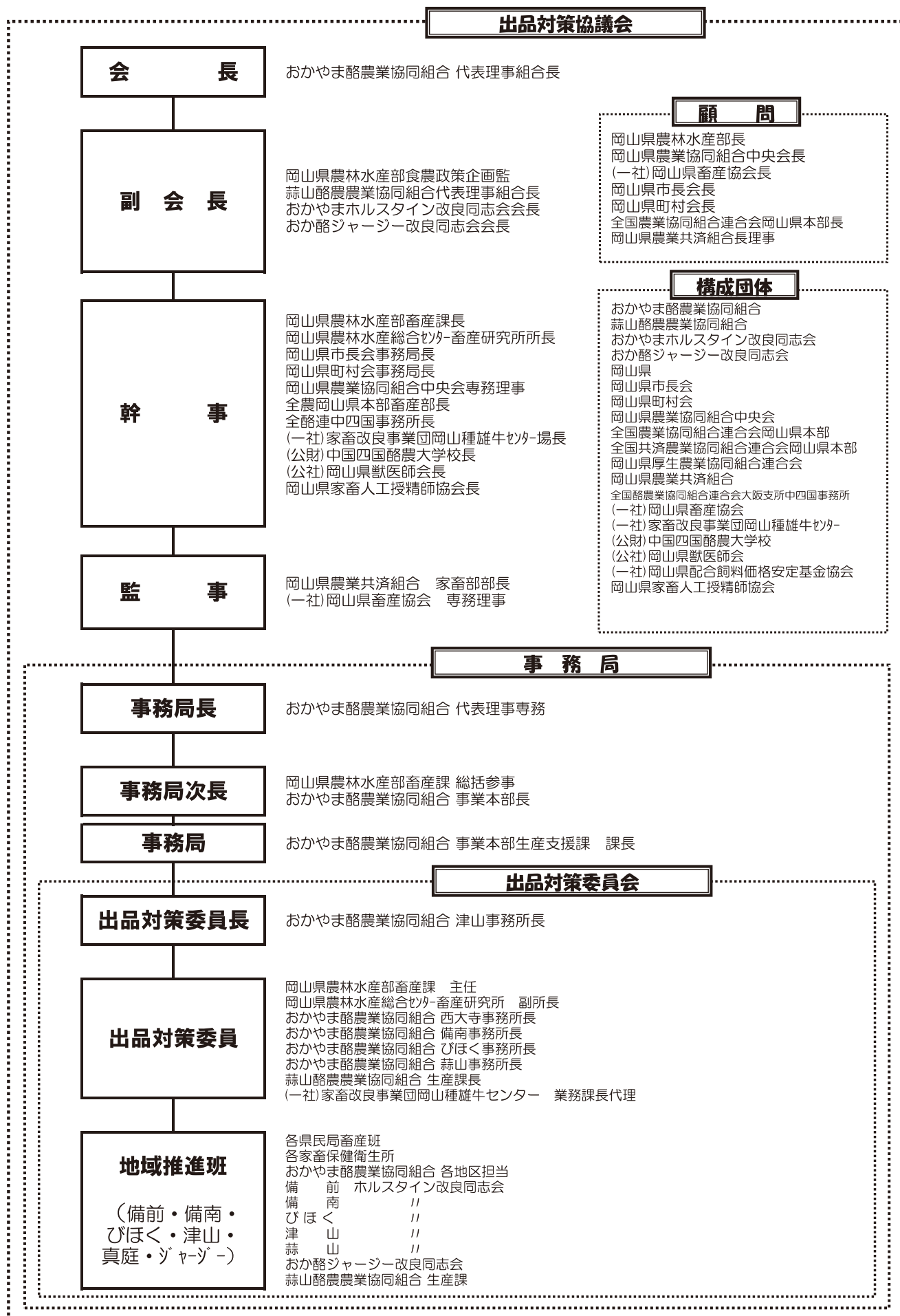


表 1 第16回全日本ホルスタイン共進会 岡山県出品対策協議会組織図 (2025.2月時点)

暑熱ストレスとその対策について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 大吞瑠莉花

はじめに

いつも大変お世話になっております。2025年が始まりあっという間に2か月が過ぎ、年度末の時期になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。まだ寒い日もありますが、今回は暑熱対策の環境面についてお話したいと思います。すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、お手すきの際に見ていただけると幸いです。

牛の体温と放熱について

恒温動物である牛は代謝の際に熱を生産し、体温を一定に保つために放熱しようとします。暑いときは汗をかくことで体温調節をしており、汗は体温を吸収し、熱を含んだ汗が空气中に揮発する際にため込んだ熱を放出して、体温を下げます。

熱は隣接しているものに伝導し、同じ温度になり、外部からの影響がない限りその温度を一定に保とうとする特徴があるため、隣接している牛舎の空間と牛でも熱の伝導が起こることになります。しかし、熱の伝導は物質間の温度差がある場合のみに発生するため、牛舎の空間と牛体に温度差がない場合は伝導しません。また、汗の揮発には空気の水蒸気量が大きく影響するため、温度以外に湿度も重要となります。空間の温度・湿度が低い場合に牛体から熱の放散ができるということになります。したがって、牛体からの放熱のためには牛舎内の温度と湿度管理が重要となります。

THIを活用した暑熱の評価

牛が受けている暑熱の影響の評価方法として温湿度指数（THI）があります。THIは気温と空気中の相対湿度で暑熱の影響を評価する指標です。

乳牛の適温域は4～24℃ですが、THIを見ることで、湿度も考慮した評価をすることができます。乳量が30kg代の牛だと暑熱ストレスの反応が出始めるTHIは68とされています。

人が暑さを感じ始めるTHIは80あたりで、日本人は80よりも高い値になる傾向にあるようです。人が暑さを感じ始めているとき、すでに牛は暑熱ストレスの影響を受けている可能性が高いので、牛舎内の温湿度は早めに気に掛ける必要があります。

暑熱ストレスへの反応

暑熱への反応として呼吸数の増加、血管の拡張、飲水量の増加、採食量の低下がみられるようになります。これらが暑熱ストレスの症状です。採食量の低下は熱生産の元となる栄養素を摂取しないための反応ですが、結果的に乳量の減少、乳質の悪化、繁殖機能の低下につながります。特に繁殖機能のダメージは影響が長引く傾向にあるため、収支に多大な影響を与える可能性が高くなります。

環境面での暑熱対策

①給水

気化熱による熱の放散も伴い、夏は牛の飲水量が増えるため、給水施設には新鮮な水を一度に大量に供給できることが求められます。ウォーターカップ方式では給水配管を貯水タンクとして考え、給水配管の内径を大きくすることで大量の水が供給可能となります。水槽の場合は水槽の数と設置位置が重要になります。搾乳直後は飲水量が増えるため、パーラーから戻ってきて水が飲める場所があるとよいと思います（パーラーの出口から近すぎると牛が渋滞を起こすので注意してください）。牛には社会的序列があり、強い牛がより水を飲んでいる印象がありますが、実は他の牛から水飲み場を守ることに忙しく、序列上位の牛も水が飲めていないという報告もあります。既存の水槽に加えて、追加的に簡易的な水飲み場を設置することで、全ての牛が水にアクセスしやすくなることが期待できます。新鮮な水を十分量飲めるように、水槽やウォーターカップの清掃も重要になります。

②換気と送風

換気は空気の入替えや牛舎内の湿気の除去を目的に行います。送風は牛に直接風を当てることが目的です。換気と送風の両方を行うことが重要です。

送風ファンは牛床上部や飼槽上部に設置して牛体に風を当てながら空気を送ります。牛の熱放散を促すためには少なくとも常時2 m/秒以上の風を牛体に当てる必要があります。必要台数は牛舎のサイズ

によって変わりますが、牛がいる状態で風速2m/秒を確保できるのは、1m径ファンの場合4～5mまでですので、3頭に1台以上必要です。牛の発汗量が多い首から肩付近に風がよく当たるような位置および角度で設置します。ファンの羽の掃除をすることで風速が上がるので、掃除もお勧めです。

トンネル換気は入り口から入ってきた空気を陰圧によって反対側の出口からファンを使って強制的に排気させます。注意点は、風の入り口と出口以外は気密性を保つことです。気密性が低い場合、空気を引き込む力が弱まり、換気効率が低減してしまいます。

③輻射熱・日光遮へい対策

日中の屋根は太陽の熱によって高温になります。屋根の熱は牛舎内の温度に影響します。屋根への散水、遮熱塗料の塗布、断熱材の使用は、牛舎内へ伝わる熱の量を小さくすることが期待できます。西日除けには遮熱シート、遮光ネットなどが効果的です。

④牛体への散水

首から肩あたりに直接水をかけて、水が蒸発する際の気化熱を利用し、冷却します。水が気化しない場合は熱放散を妨げ、熱を体内にこもらせます。また、気化しないと牛舎内の湿度が上昇するため、換気、送風条件が良いことが必須となります。

⑤細霧冷房

気化熱による冷房効果が期待できます。余分な水分は湿気の原因となるため、無駄なミストは出さないこと、間欠運転を行うことで湿度を一定に保ちます。湿度が高いときは気化冷却が期待できないため、舎内の湿度のコントロールが必要です。

おわりに

ここまでお読みいただきありがとうございました。今年の夏も暑くなると思います。暑熱時は人も大変ですが、事前に対策をして、少しでも快適な夏を迎えましょう。全酪連では換気扇、送風機や暑熱時に効果のある添加剤等も取り扱っております。気になることやご不明な点等ありましたら、全酪連職員にご相談ください。今後ともよろしくお願いいたします。



夢に向かって頑張ります!!

笑味ちゃん天気予報がやってきた!

(RSKテレビ) 月・金 18時50分より

2月10日放送の笑味ちゃん天気予報の担い手紹介コーナーで、くにとみ牧場(勝田郡奈義町)の早川倫矢さんが紹介されました。

早川さんは実家が酪農家で、牛は小さい時から身近な存在だったそうです。高校生の時に「やっぱり牛を飼いたい」という思いで酪農大学校へ進学。おかもと酪農協のヘルパー職員として経験を積まれた後、くにとみ牧場の従業員として働き始めて2年目の若手酪農家です。

就農される前は「ゆつたりとした仕事したい」という思いがあったそうですが、実際は牛に時間を合わせるので大変だと感じることも。

就農する時には「牧場に必要とされている」と感じられることが嬉しく、よりスキルアップできると思い、決心されたそうです。今では「細かいところにも気付けるようになって

きた」と自信も付いてきました。

今後は、飼料についてもしっかりと学び、牛舎の中のことは何でも分かるようになりたいと思っています。「いつか自分の牧場を持ちたい」という夢を持っています。

終始笑顔でハキハキと対応されていたのがとても印象的でした。早川さんには今のうちにいろいろなことを経験し、学んで、必ず夢を実現してもらいたいと強く願っています。

(生乳課)

番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。

・月曜日 担い手・JA職員紹介・

高校生の紹介

・火曜日 農畜産物の紹介

・水曜日 火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介・

栄養士による料理・栄養等の紹介

・木曜日 JA活動紹介・市町村の紹介

・金曜日 直売所・イベント紹介

搾乳等お忙しい時間帯の放送になりますが、ご都合のつくときはぜひ観てください。また、取材にもご協力くださいますようお願いいたします。

「供卵牛情報と採卵計画（4月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

4月の採卵計画を
お知らせします。

ご利用の場合や
詳細な情報が必要
な場合は、最寄りの
家畜保健衛生所、受
精卵移植師の方等に
ご相談ください。

なお、能力評価を
牛群検定成績から行
うため、検定参加農
家の方を譲渡対象と
しています。

また、採卵予定日
や交配予定種雄牛に
ついては、急遽変更
になる場合があります
ので、あらかじめ
ご了承ください。
8日を予定していま
す。
※ご要望・ご意見等
ありましたら、畜
産研究所までご連
絡ください。

【優良牛】（選別性判別無し@32,560、雌判別@43,450）	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
♀：ダイベロツプ ソリューション プリン 9685 E T 登録番号：15369 9685 0 北海道導入牛、産乳成分に優れる		4 / 10
♂：アルタカワイイ (511H16334) 米国5位相当 ヤングサイヤ、産乳成分に優れる		

交配精液は、長命連産事業対象（@6,000円以内）です。
事業の詳細は、おかやま酪農協へお問い合わせいただくか、農林水産省のホームページをご覧ください。

在庫卵情報（在群上位牛）

採卵牛	総合指数	(順位)	系統	個体識別番号	種雄牛	性*	保存**	在庫数
ウルル	3262	1 %	ウエストジエツト	1390973202	レネゲード（♀） 550H14134	判別♀	ガラス化	1
						選別精液♀	ガラス化	5
						選別精液♀	ダイレクト	3
					オーウエン（♀） 777H12666	判別♀	ガラス化	2
キヤツプ	3176	1 %	チャシテイ	1509873645	マローン（♀） 507H16263	選別精液♀	ガラス化	3
					パースーツ（♀） 777H11186	選別精液♀	ダイレクト	7
シヤルル	3100	1 %	シャーレッツテイ	1390973028	バーグーン（♀） 507H16163	判別♀	ガラス化	4
						選別精液♀	ガラス化	4
					レッチワース（♀） 550H16110	選別精液♀	ガラス化	3
キヤシー	3098	1 %	チャシテイ	1607272593	キヤブテン（♀） 551H4119	選別精液♀	ガラス化	6
キズナ	3084	1 %	チャシテイ	1509873652	オービット（♀） 507H15496	選別精液♀	ガラス化	4
キキ	3042	2 %	キヤロットK	1390973127	ハイプレシヤス（♀） JP61137	判別♀	ガラス化	2
					パーフェクト（♀） 507H15085	判別♀	ガラス化	2
						選別精液♀	ダイレクト	3
ラビー	3010	2 %	ラベール	1600872271	フロストバイト（♀） 7H15821	選別精液♀	ガラス化	3
キヤスト	2917	4 %	チャシテイ	1354972036	デデイケート（♀） 551H3590	選別精液♀	ダイレクト	3
キヤリー	2776	9 %	チャシテイ	1546371500	アルコーブ（♀） 777H11000	選別精液♀	ダイレクト	6

※判別♀：受精卵を性判別、選別精液♀：性選別精液使用・卵の性判別無し

※※ガラス化：畜産研究所で融解、ダイレクト：移植時に融解移植

蒜山ホルスタイン改良同志会視察研修

令和6年12月某日、島根県飯南町の(株)来島牧場さんに伺いました。蒜山ICから車で片道2時間ほど、国道54号沿いの小高い場所にあり、牧場周辺の景色や気候が蒜山高原と似ているような印象を受けました。昨年、ロータリー型搾乳ロボットを導入され、あわせて搾乳舎、成牛舎、育成舎、哺育舎などを新設され、哺乳ロボットなどさまざまな機器も導入



ロータリー全景

入されたということで、若干興奮状態に到着し、はじめにロータリー型搾乳ロボットを見学させていただきました。オリオン社製で、現在国内で稼働しているのは9機だそうです。収容頭数は40ポイントで1時間におおよそ6回転し、こちらの牧場では搾乳牛約760頭を搾るのに4時間かからないそうです。搾乳作業は基本2人1組で行うことができ、

1人は牛の追い出しで、もう1人はモニターの監視などの作業をし、ロボットに合わない牛は手動で搾ることもできるそうです。今後は830頭まで増頭を予定しているとのことでした。

フリーストール成牛舎には牛床全面にマットが敷設され、搾乳舎までの通り道にも隙間なくマットが敷かれており、ケガを防止する作りになっていました。ストールにはたつぷりの敷料と大型ファンや細霧装置で暑熱対策もしっかりと施され、快適さを感じれる牛舎でした。

哺育舎では、自走式哺乳ロボット「カーフレール」を導入されてから、哺乳にかかる

時間が大幅に減少できたことや、最大で3ℓを1日4回給与できるようになり、子牛の発育が格段に良くなったことなどを話していただきました。

糞尿はスラリーセパレーターを介して分離され、糞は敷料用に戻し堆肥に、近隣の耕種農家さんにも使ってもらいます。尿は廃棄乳も一緒に専用の濾過設備によって川に流せるほどクリーンになるという点も驚きでした。

そのほかにもあらゆるものがスマート化され、労働力削減、作業効率・生産性の向上を実現した先進酪農の現場に驚くことばかりで、とても価値のある視察研修をさせていただくことができました。

莫大な費用を投じて規模拡大に踏み切られた背景には、地域密着の乳生産というこだわりや過疎化が進む町でUターン者の受け皿となり、地域経済の活性化に貢献したいという思い、きつい仕事という酪農のイメージを払拭し、男女問わず活躍できる農場を目指し、機械化を進めてこられたそうです。受精卵による和牛子牛の生産も積極的に行い、



ロボット搾乳部分

縮小傾向にある地元の和牛繁殖、並びに、和牛産地の再興にも注力されているそうです。

最後になりましたが、お忙しい中、快く受け入れてくださった(株)来島牧場代表取締役 灘尾さんをはじめ、牧場関係者の皆様に感謝を伝え、(二財)おからく教育振興会より助成をいただきましたことを感謝申し上げます。

(蒜山ホルスタイン改良同志会

山口 英範)

びほく地区女性部・青年部

牛乳消費拡大活動

2月9日、「第46回市民健康づくり 愛らぶ高梁ふれあいマラソン」が高梁市で開催されました。

今年もびほく青年部、女性部合同で消費拡大の一環として牛乳配布を行いました。

高梁ふれあいマラソンでは1000人近いランナーのエントリーがありました。

ランナーがゴールする頃を見計らいゴール地点で、「運動後の牛乳はプロテインの代わりになります」と声をかけ手渡し、また応援に来られている方や大会スタッフの方々にも



牛乳を配布しました



記念撮影

手渡しました。

小さな子どもからお年寄りまで大変喜ばれ、子どもたちからは「牛乳は大好き」との声も聞こえてきました。

なお、吉備中央町の「第15回吉備中央町早春マラソン大会」は、前日の降雪で残念ながら中止となりました。

今後も青年部、女性部合同でもっともっと牛乳の良さと消費拡大をPRしていきたいと話されていました。

(びほく事務所)

酪政連備前支部政治懇談会

2月22日、おからく西大寺事務所2階大会議室で、衆議院議員 山下貴司氏と参議院議員 小野田紀美氏をお招きし、管内組合員と家族、関係団体職員を含めて30名ほど集まり、長期間にわたって緊迫している酪農窮状を陳情いたしました。

冒頭に岡山県酪農政治連盟備前支部 山本一司支部長が開会をし、山下氏と小野田氏、岡山県酪農政治連盟 三宅穰次委員長、岡山市議会議員 成本俊一氏から挨拶をいただき、政治懇談会が開催されました。

参加者からは、改正畜安法の見直し、牧場の収支を時給換算した場合にはマイナスになることや機械の単純更新に対する補助事業の設立など、切実な要望が上がりました。山



政治懇談会のようす



熱心に行われた意見交換

下氏と小野田氏からは、農水省での聞き取りをもとにした丁寧なご回答をいただきました。また、酪農家の窮状に関してはかなり切実な思いを感じられたのか、「持ち帰って再度検証します」とのお言葉もいただきました。

1時間30分ほどの政治懇談会でしたが、活発な意見が飛び交い、両氏にお伝えできことは有意義であったと思います。

コロナなどの影響があり、3年以上ぶりの開催となり、不手際な点が多々あったことと思いますが、皆様のご協力により、盛大な懇談会であったと思っております。大変ありがとうございました。

(岡山県酪農政治連盟備前支部)

ひろば

育児(人間)と

濡れ仔(牛)の気持ち

流通課 河本 裕介

育児のためサントク畜産(株)を退職し、おからくに入組して丸4年になり息子も今年の4月1日で5歳になります。4月1日生まれば学年で一番最後の生まれになるため保育園での生活を心配していましたが、保育園の先生に話を聞いたところ、息子は甘え上手で自分でできるようなことも同じクラスの子に世話を焼いてもらって生活しているようで、親としては孤立しては良かつたと思う反面、自分でできることは自分でしようや!と複雑な気持ちになります。妻は美容師をしているので土・日・祝は私が息子を見ますが、たまに妻と休みが合い一緒に息子をみている時に保育園と同じく甘えて一人でできることをしようとしなくて、私が『自分でしなさい』と叱ると、妻から『してあげればええがん、なんでそんなこと言うん』と逆に叱られたりして、なにが良いのかわからないまま日々迷走しています。

さて、話は変わりますが、産まれた仔牛の気持ちを面白可笑しく書こうと思います。仔牛と話せるわけではないので、あくまで想像(妄想)になりますが、広い心で読んでいただければ幸いです。

はじめまして、産まれたばかりの交雑種メスの濡れ仔ちゃんです。

朝晩の寒さが厳しいです。お母さんは寒さに強いですが、私たち仔牛は寒さに弱く、濡れた状態で生まれるのですぐに拭いてほしいです。すごく寒いですが、寒くて初乳も飲めないし、濡れたまま風にあたると体力を奪われて下痢しちゃいます。

コンクリートは思っていたより冷たくて、ベットの敷料が少ないとお腹が冷えちゃう。来週おからくの流通担当の人が外の世界へ連れ出してくれるみたい。

たっぷり初乳を飲んだから免疫力で大丈夫なはず!

今日はいつもと違う人が多めにミルクをくれて嬉しかったんだけど、時間が経つにつれて、なんかお腹がおかしいような?

やつぱり、いつもの時間に、いつもの人の、いつものミルクじゃないとダメみたい。ごめんなさい。私、繊細なんです。

なんとか消化して軟便だったから大丈夫かな?

いろいろあったけどやっと一週間、外の世界に行ける日です。

昨日は温度差がありすぎて水溶性の下痢しちゃった。

なんか保留って聞こえたけど、どうゆう意味かしら?

頑張ったのにミルク代が余分にかかるってなんて言われたら泣いちゃう。

理事会報告

1月30日、第294回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和6年度生乳需給安定化対策について

令和6年度12月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○購買業務規程の変更について

合併時に制定された購買業務規程を見直したところ、実務と乖離している規定が認められたので、内容を協議し、購買業務規程の一部変更を承認した。

○報告事項

定例監事監査について、第3四半期苦情等の報告について、正組合員の状況について報告した。

令和7年2月20日、第296回臨時理事会を理事7名、監事3名が出席し、開催した。三宅理事から一身

上の都合により理事を辞任する旨の申し出があり、理事会はこれを受理しました。

人事

退職

(令和7年2月28日付)

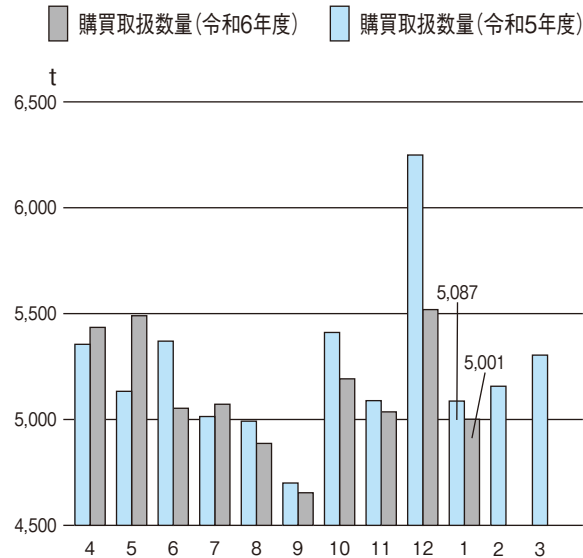
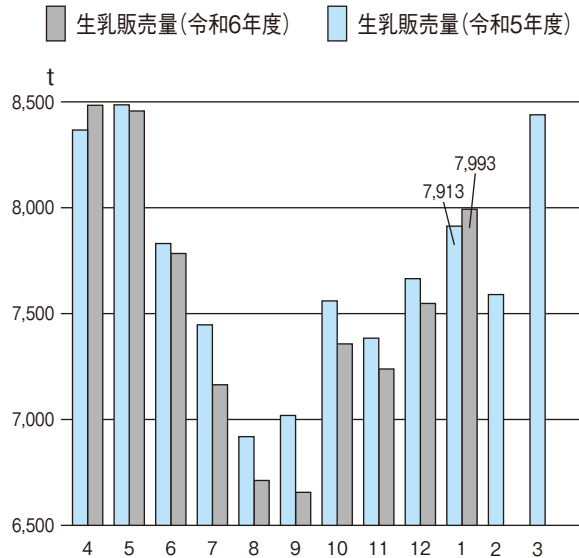
高田 碧

(津山地区専任ヘルパー)

大変お世話になりました。



おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	1	586,450	270,940	172,046	143,464	101.2	98.8	104.9	101.6
	4～1	5,679,874	2,813,564	1,435,378	1,430,884	100.1	98.0	104.5	100.0
岡山県	1	7,993	7,269	499	225	101.0	101.9	75.4	186.0
	4～1	75,400	70,673	3,690	1,037	98.5	97.4	123.3	107.6
北海道	1	339,939	57,254	143,932	138,753	102.8	100.2	105.2	101.5



主な行事

3月

- 4日 日本酪農政治連盟総会(～5日)
- 5日 ジャージー改良同志会総会
- 10日 青年部・女性部酪農
発表大会・総会
- 11日 津山・真南地区ブロック会議
- 12日 びほく青年部総会
- 13日 評議員会
- 22日 第9回おからくB&Wショウ
- 24日 管理職会議
- 25日 岡山県酪農政治連盟
美作支部大会
- 31日 理事会

4月

- 1日 現物監査
- 4日 2025セントラルジャパン
(～5日)
- 12日 第4回西日本B&Wショウ
(～13日)
- 22日 管理職会議
- 26日 ジャージースプリングショウ
- 30日 理事会

北海道初妊牛価格

2月については、昨年の猛暑により資源不足傾向にある春分娩の牛が回りの中心であったことと1月下旬の反動もあって全国的に需要が活発化し、平均価格は税込62万8千円(前月比3万7千円高・前年比4万5千円安)と一段値を上げて推移しました。

3月については、資源の減少が予測されるなか、乳価改定による導入需要の増加が見込まれることと春分娩需要の継続により、強含みで推移することが予測されます。